

日高市地域防災計画改訂（案）についての市民コメント募集結果

No.	意見	市の考え方
1	<p>災害時の井戸水協力について 市内にどのくらい井戸が現存しているのか？井戸の管理者、所有者が日常的に使用しているか？井戸水をくみ上げる方法は何か、水質検査の実施状況は？井戸所有者に災害時生活用水を提供できるか？生活用水状況を一般に公開できるか？ハザードマップに現在避難場所、公会堂、自治会館、市役所、警察署、郵便局、公衆電話等の記入はありますが災害時に協力井戸の記載がありません。検討願います。</p>	<p>井戸水には、停電時の電源の確保や水質など様々な課題があるため、市内の事業所と事前に協議したうえで協定の締結を進めております。また、ハザードマップへの記載については、今後の課題として検討してまいります。</p>
2	<p>災害時や停電時でも問題なく交差点が作動するラウンドアバウトの導入検討をお願いします。</p>	<p>災害に強いまちづくりを行ううえで今後の参考にさせていただきます。</p>
3	<p>全体の人員配置について 各部門の責任者を明確にしておかないと、いざという時に大混乱を引き起こしかねない。 また、高齢、病弱、身体欠陥の人が実際に現場で指揮命令するのは大変で体力的にも限界があるものと思われるので、高齢者指揮官に配慮し、次位、三位の若い体力的にゆとりのある者が先頭に立つべきと考える。</p>	<p>市では、人事異動等に伴い、年度当初に各災害担当の職員を割り当て災害に対する組織の見える化を図っています。また、職員の高齢化ですが、災害時には、知識や経験を持つ職員も必要とするため、適材適所に配置していきたいと考えております。</p>